



水島協同病院 だより

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかかる医療を追求します。

水協のホーム
ページもご覧
ください

<http://www.mizukyo.jp>

● 社保・平和委員会のメンバーで
● ポスティングをしました



10/21、社保・平和委員会の職員を中心に、当院から少し離れた北畠や連島の地域の方に向けて、よりよい医療と介護を求める趣旨の署名用紙と無料・低額診療事業の案内文をポストに入れていきました。配布後

1週間で、たくさんの署名が返送されました。

参加した職員からは、「病院周辺の様子がよく分かった」「地域の方から『先生にはいつもお世話になっています』と言われてうれしかった」などの感想が寄せられました。今後も地域の方の声を大切に、続けていきたいと思います

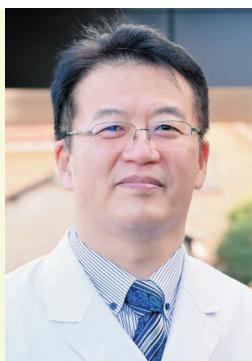
(社保・平和委員会)



連載 みずきょうの診察室から

手術だけじゃない 在宅医療の一端も担う 外科医の役目

外科医 山本 明広 院長
やまもと あきひろ



に資格ができる、当院では胃瘻造設を行なう施設として、長年多くおこなつてきました。他院からの紹介が多く、高齢者介護施設や在宅医療を支える部門とされていきます。

外科医というのは、外科の手術をすることが本職と思われますが、外科の医療は多岐にわたります。腹腔鏡や胸腔鏡で腫瘍手術をするだけでなく、胃瘻（いろう）造設やC.V.ポート埋め込み手術、疼痛コントロール、褥瘡（床ずれ）処置など外科医が携わっています。当院では、胃瘻造設やC.V.ポート埋め込み手術を主に私が担っています。

れる際に必要な管をとおすために、お腹に小さな穴を開けること

また、CVポートは、もともとは抗がん剤を安全に投与するために開発されたカテーテルですが、点滴が困難な患者さんや在宅で点滴を受ける場合にも必要となります。当院では、年間およそ100例行っています。今後も連携施設や在宅分野で、患者さんが安全に生活する上で必要な選択肢の一つとして、取り組みたいと考えています。

脳卒中とは、脳の血管が詰まつたり破れたりして脳に障害が起きる疾患で、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。

急に手足に麻痺が起きたり呂律が回らなかつたり、意識を失うこともあります。何らかの後遺症が残り、介護が必要な状態となることが多いです。後遺症を軽くするために、早期に治療するためには、早期に治療することが大切です。

当院では今年度から、脳卒中の患者さんによりよい治療とケアを提供するために、脳卒中チームを立ち上げました。チームメンバーは、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、放射線技師、検査技師、

医療ソーシャルワーカーです。

脳卒中には専門的な治療があります。なかでも脳梗塞は発症後4時間30分以内に行う治療があり、高度医療機関で行われます。その適応にならない場合には、当院で薬物療法などを行います。そのため、患者さんが適切な治療を受けられるよう、当院での体制を整えました。また勉強会を毎日行い、脳卒中の知識を高めています。患者さんやご家族に満足していただけるように、チーム活動を発展させていきたいと思います。

つい食べ過ぎたりお酒を飲み過ぎたり、運動不足から脂肪肝と診断される方が増えています。また、お酒を飲まないのに、脂肪肝から肝炎・肝硬変となるNASH（非アルコール性脂肪性肝炎）も増加しています。これらの予後判定に有効なのが、肝線維化マーカーと呼ばれる検査です。肝線維化が進むと肝硬変に移行するリスクが高まるので、マーカーの測定により肝硬変に進行する危険度を予測できます。血液検査で簡単

肝繊維化マーカー検診
料金2,200円

つい食べ過ぎたりお酒を飲み過ぎたり、運動不足から脂肪肝と診断される方が増えています。また、お酒を飲まないのに、脂肪肝から肝炎・肝硬変となるNA

に測定できます。

肥満、肝機能異常または脂肪肝と言われたことがある、糖尿病または予備軍、運動不足、お酒をよく飲む方にお勧めの健診項目です。

肝繊維化マーカー 健診のご紹介

